

請願・陳情の概要

請願・陳情とは？

地方公共団体等に対し、困っていることや意見・要望について、公的な機関へ改善などを要望するよう申し出ることです。議員の紹介があるものを請願、紹介がないものを陳情と呼びます。



陳情第3号 「日本政府に国民の命と人権を守るために速やかに日米地位協定の抜本的改定を求める意見書」に関する陳情書

趣旨採択

内容 米軍人等による刑法犯罪は長年にわたり繰り返されてきた。国は、国民の命と安全を守るべき綱紀粛正と再発防止を言ってきたが、対策に実効性がなく、一向に事態が改善されないばかりか、加害者米軍・米兵に特権を与える理不尽な地位協定の実態があからさまになっている。安全保障問題が国の専管事項であるならば、政府が率先し責任を持って、この理不尽で不平等な地位協定の改定に乗り出す義務がある。国会で早急に、日米地位協定の抜本的改定の議論を始めることを念頭に置いた意見書の提出を求める。

趣旨採択とする意見

鯖江に住んでいて直接的な関わりはなくても、沖縄で起きていることについて、議員という立場で憂いはある。実際はヨーロッパ並みの地位協定にしてもらうのが筋と思う。内容的にも理解はできるが、安全保障問題は国の専管事項であり、政府が率先して責任を持って取り組む必要がある。国において何もしていないわけではなく、国会議員がもっと力を込めてやるべきであり、国がしっかりと道筋をつけて行くことが本筋ではないか。地方議会としては、国の動向を見守る形である。

採択すべきという意見

米軍等による事件・事故に対して、なかなか責任を追及できないなど、現在の日米地位協定は理不尽である。広大な米軍基地がある沖縄県民に思いを寄せると容認できる問題ではない。地位協定の見直しを一刻も早くしてほしい。協定が締結されてから65年間、改定されていないことは問題である。沖縄に限らず、全国どこに住んでいようと事件に巻き込まれる可能性がある。国民主権という考えの下、地方から声を上げることは筋違いとは言えない。

陳情第3号の議決結果

議案番号	三村尚司	田中良幸	加藤優	土田光	堀川秀樹	西野有香	東井忠義	酒井友季子	林下豊彦	江端一高	大門嘉和	空美英	福原敏弘	佐々木一弥	遠藤隆	帰山明朗	石川修	木村愛子	末本幸夫	玉邑哲雄	議決結果
陳情第3号	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	-	×	○	○	○	○	○	趣旨採択

※佐々木議長は採決に加わっていません。 ○ = 趣旨採択に賛成 × = 趣旨採択に反対